

こんにちは。トリプルアイズの光石です。
いつもお読みいただきありがとうございます。

トリプルマガジンでは、当社の製品やサービスについてはもちろん、IT・AIに関する最新情報を発信しています。たまに社内の出来事もお知らせしますが、身近に感じていただけると嬉しいです。

さて今回のコラムは、「顔認証だけじゃない。トリプルアイズの AI 技術が植物判定の精度向上を実現！」というテーマでお届けします。

トリプルニュースでは、「顔認証サービス導入事例記事 新着」「note トリプルアイズ公式ページ その他 SNS チャンネルのご紹介」「代表 山田メディア出演のお知らせ」「関西 HR EXPO で AIZE ミニ講演」についてご紹介いたします。

さらに IT 批評では、新着記事「国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター長 辻井潤一氏に聞く」についてご紹介します。

どうぞ最後までお付き合いください。

-----<目次>-----

1. 「顔認証だけじゃない。トリプルアイズの AI 技術が植物判定の精度向上を実現！」
2. トリプルニュース
3. IT 批評
4. 編集後記

1. 「顔認証だけじゃない。トリプルアイズの AI 技術が植物判定の精度向上を実現！」



花や植物を撮影すると AI により候補が表示される

植物好きが集まるコミュニティサイト「Green Snap」をご存知ですか。2017年にサービスをスタートして、アプリはすでに300万ダウンロード、アクセス数は月間で100万人を超えるという人気サイトです。

Green SnapさんのHPは[こちら](#)

Green Snapには「教えてカメラ」という機能があり、お花やグリーンを撮影するとAIがその名前を判定してくれます。

このAI判定に**当社の画像認識AI技術が活用されています**。当初、AI判定は50%前後の精度だったそうですが、依頼を受けたAIZE開発部がチューニングすることで現在は**正答率が90%以上**にまで高まっています。ユーザーさんからも好評で、チューニング後にはネガティブコメントがゼロになったとか。

当社の技術陣が実現したのは大きく分けて3つありました。

1つは前述したようにAI判定の精度を上げたこと、2つ目が、植物とその他の画像を判別できるようにしたこと。画像には犬や猫などペットが映り込んでいることもあるので、植物だけを検出できるようにしました。3つ目が、「教えてカメラ」のメンテナンスを容易にしたことです。

現在約1,600種類の判別が可能ですが、植物の品種はどんどん増えてくるので、容易に追加登録できるようにしました。

これら、判定精度アップや画像検出、メンテナンス向上は、いずれも顔認証で磨いてきた技術を応用した成果とも言えます。

画像認識AIは、顔認証のみならず、物体損傷の検出や製品判定、自動運転、農作物の成長測定などに活用されています。当社でも、上述の植物判定以外にもファッショントレンドの予測などを行ってきました。カメラの高解像度・低コストの動きはますます進みますので、画像認識AIが活躍する分野は広がりを見せていくのは間違いありません。

ちなみに、「教えてカメラ」の精度向上を担当したのは、当社の通信教育プログラム「**AIビジネス実践学AT20**」の講師・サポート陣です。実践で腕を磨くことで、その知見を教育事業にもフィードバックしています。

* Green Snap様に取材しました詳しい記事は、後日、本社サイト・AIZEサイトに掲載いたします。次号でご報告致しますので楽しみに！

2. トリプルニュース

「顔認証サービス導入事例 新着記事のご紹介」



トリプルアイズの顔認証サービス AIZE を導入いただいた企業様を紹介している web ページに新しい事例記事を追加しました。

今回は、加工食品分野で日本を牽引するリーディングカンパニー「ヤマモリ株式会社様」や、その関連会社「伊勢醤油本舗 VISON 店様」「サイアムガーデン様」の記事のご紹介です。

顔認証システムを活用した入退出のクラウド管理や、店舗で画像認識 AI を活用したマーケティング施策、レストランでの DX の取り組みなどについてお話を伺いました。

ぜひご参考にご覧いただければと思います！

導入事例は [こちら](#)

「note トリプルアイズ公式ページ その他 SNS チャンネルのご紹介」



今年の9月に note トリプルアイズ公式ページを開設しました。note では、トリプルアイズで働く「ヒト」にフォーカスして、どんなメンバーが日々どんな思いをもって仕事をしているのか、トリプルアイズで浸透しているカルチャーはどんなものかが分かるような記事を紹介しております。ぜひお読みいただけると嬉しいです。

note は[こちら](#)

Twitter や Instagram では、リリース、AIZE 活用事例、製品情報、展示会出展のお知らせなどを紹介しています。より日常に近い社内の出来事もつぶやいています。採用情報を中心に発信している Twitter のアカウントもありますので、そちらもぜひチェックしてみてください！



そして、このご案内を忘れてはいけませんでした！代表の山田も Twitter 始めました！非エンジニア社長がエンジニアたちと共に未来創りに挑戦している様子、自然体の山田を感じられるかと思います。

各種の SNS、今は就職活動や転職活動の際に会社選びの参考にする方も多いようですね。エンジニア不足の昨今、会社の「リアル」と「魅力」を発信して、選んでいただける会社を目指します！

その他、社内報は 2 年前から毎月発行しており、社員インタビューやその月のニュースリリース、人事異動情報、そして広報チーム持ち回りのコラムなども紹介しています。

というわけで、次のネタ探しに行ってきます（笑）

Twitter は[こちら](#)

Twitter 採用アカウントは[こちら](#)

Twitter 代表山田のアカウントは[こちら](#)

Instagram は[こちら](#)

「メディア出演のお知らせ」

その1：ラジオ NIKKEI「大人のラヂオ」



今月 10 月 21 日（金）ラジオ NIKKEI「大人のラヂオ」イノベーションのコーナーに、代表の山田がゲスト出演しました。「大人のラヂオ」は、大人のための大人のライフスタイルに焦点をあてた番組。

イノベーションのコーナーでは、革新的・イノベーション的企業の製品やサービスの紹介と代表者自身の人生の歩み、将来の展望などが紹介されます。

今回、トリプルアイズの事業概要や主力事業の具体例、経営状況、そして、代表である山田自身の来歴や人生での転換点などを語っています。放送内容は、radiko やポッドキャストでも聴くことが可能です！

ラジオ NIKKEI「大人のラヂオ」は[こちら](#)

その2：経営者インタビューメディア「経営ノート」

WizBiz 株式会社が運営する経営者インタビューメディア「経営ノート」において、代表山田の生い立ちや会計士時代の経験、そして、トリプルアイズに参画することになったきっかけや上場までのエピソード、座右の銘などについて紹介いただいています。

経営ノートは[こちら](#)

その3：ABC ラジオ「経営者たちのラジオ」に当社代表・山田と取締役 CFO 加藤が出演



来月 11 月 6 日（日）24:30～ および 11 月 13 日（日）24:30～ にオンエアされる、ABC ラジオ番組「経営者

たちのラジオ」に、代表 山田雄一郎と取締役 CFO 加藤慶が出演します。

ビジネス成功の裏側にある苦悩や魅力、経営哲学などを対談形式で紹介する番組で、放送内容は、radiko や YouTube でも配信されます。

今回、トリプルアイズが AI 開発を行うようになった経緯と現在のサービス内容、また、上場というチェックポイントを挟み、上場準備期間の意味や上場後の変化などについて語っています。山田や加藤がトリプルアイズに参画することになったきっかけや二人の人となりも分かる内容となっております。ぜひご聴取ください！

ABC ラジオ「経営者たちのラジオ」は[こちら](#)

「関西 HR EXPO ソニービズネットワークス様ブースで AIZE ミニ講演」

こちら、だんだんと日が迫ってまいりました。来月 11 月 16 日（水）から 18 日（金）までの 3 日間、インテックス大阪で HR EXPO が開催されます。

人事 DX システムなどの人事部門を支援するソリューションが多数出展される中、ソニービズネットワークスさんのブースにて、トリプルアイズも顔認証 AI システムについてのミニ講演を実施させていただくことになりました！

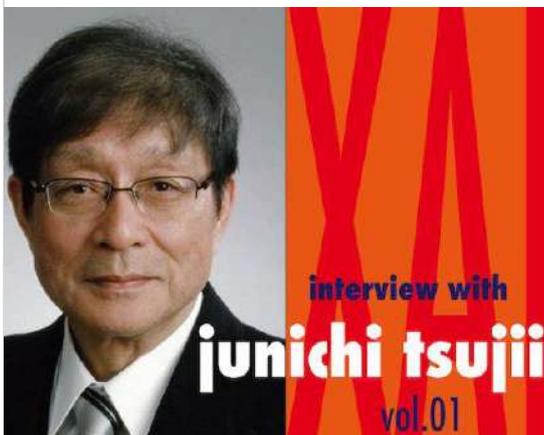
お近くの企業様、企業の DX ご担当の皆様、ぜひブースにお立ち寄りください。詳細はまたご案内いたします。

ソニービズネットワークス社との連携詳細については[こちら](#)

3. IT 批評

新着記事のお知らせ

国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター長 辻井潤一氏に聞く



(1) 人間の認知の仕組みへの興味から AI 研究の道に

(2) AI が持つブラックボックス性の解決が次の大きな課題

(3) 第4次 AI ブームを切り拓く XAI と CAI

AI 研究において今注目されているのが「XAI (説明可能 AI)」です。XAI は、人工知能 (AI) が導き出した答えに対して、人間が納得できる根拠を示すための技術です。

AI が社会実装される上で、AI が持つブラックボックス的側面を解決するものとして期待されています。

日本の AI 研究黎明期から言語処理にかかわってきた産総研人工知能研究センター長でおられる辻井潤一氏に、XAI (説明可能 AI) が出てきた背景と現在の動向と未来における可能性について伺いました。

ぜひご一読ください！

<https://it-hiyou.com/>

編集後記

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございました。

あっという間にもう 10 月も終わろうとしていますね。さて、光石、先日社内公募されていた AI ビジネス実践学 [「AT20」](#) という弊社独自の教育プログラムの「入門コース」に申し込みをしました。

入門コースは非エンジニアで AI の基礎知識を学習したい人向けに作られたもの。受講にあたり、時代に置いていかれてはいけないという焦りとともに、新たな学びにちょっとワクワクもしています。

「AT20」は外部向けにも教育サービスとして提供していますので気になられた方はお気軽にお問い合わせください。

秋の夜長の AI ビジネス実践学！またこちらで感想などお伝えしますね。それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに。
